

2025 年度 サポートシステムあゆみ 事業報告書

松山 徹

1. 事業内容

・居宅介護事業・行動援護事業・同行援護事業・移動支援事業・生活介護事業

2. 利用者の状況

・居宅介護事業、行動援護事業、同行援護事業、移動支援事業については、人員体制の安定化および業務整理を目的として、10 月より生活介護事業および就労継続支援 B 型利用者以外の新規契約を行なわなかった。その結果、利用時間数は前年度比で以下の通りとなった。

居宅介護 79.5%、行動援護 97.4%、同行援護 73.3%、移動支援 73.6%

・一方、生活介護事業では新規利用者 1 名に加え、オープンスペース ‘AYUMI’ より 2 名が加わり、利用率は前年度比 113%と増加した。

3. サービス提供の状況

【生活介護事業】

・内職やリラクゼーションを行い、活動と休息のバランスを意識した支援を重視した。他にも地域を散歩したり、室内運動やモーターアクティビティのような体を動かす活動も多く取り入れ、健康と体力維持も重視した。

【居宅介護事業・行動援護事業・同行援護事業・移動支援事業】

・利用者の外出支援や通院介助のニーズが増加する中、限られた人員体制でも柔軟に対応し、継続的な支援提供に努めた。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
居宅介護	身体介護	回数	26.0	26.0	24.0	32.0	22.0	24.0	23.0	19.0	17.0	23.0	22.0	28.0	286.0
		時間数	40.68	38.84	37.26	47.76	34.34	39.76	34.8	26.67	23.17	34.42	30.9	44.3	348.6
	家事援助	回数	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	13.0
		時間数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	12.5
	通院等介助	回数	1.0	2.0	3.0	1.0	5.0	6.0	0.0	1.0	3.0	4.0	5.0	7.0	38.0
		時間数	1.7	3.6	2.9	2.5	7.0	7.4	0.0	1.2	5.1	4.8	6.9	8.0	51.0
	合計	回数	28.0	29.0	28.0	34.0	29.0	31.0	24.0	21.0	21.0	28.0	28.0	36.0	337.0
		時間数	43.4	43.4	41.2	51.3	42.8	48.2	35.8	28.8	29.3	40.2	38.8	53.3	496.4
行動援護		回数	76	76	77	77	66	71	63	52	66	63	61	75	823
		時間数	172.5	168.6	164.54	175.08	161.01	167.11	140.5	118.58	152.14	146.85	143.84	166.4	1877.1
同行援護		回数	7	7	5	5	4	3	6	5	4	7	4	5	62
		時間数	4.6	5.4	5.7	5	3.83	4.17	4.34	4.8	5.67	6.76	6.5	3.92	60.72
移動支援		回数	25	25	24	25	24	23	11	17	18	17	13	16	238
		時間数	81	77	72	80	84.5	83	37.5	54	47.5	53.5	47.5	57.0	774.5
生活介護		回数	481	482	478	499	429	471	485	425	455	438	407	461	5511
		1日平均	21.9	21.9	21.7	21.7	21.5	21.4	21.1	20.2	20.7	20.9	20.4	21.0	21.2

4. 事業の成果

- ・メンバーの体調変化等はあったものの、個々のニーズに応じた支援を行なう事で、利用継続および出席率向上につなげる事ができた。また、職員間での協力態勢や班を越えた連携も進み、チーム支援の強化につながった。
- ・ヘルパー事業については、相談支援（ふーぷ）との連携を図りながら、メンバーのニーズに応じた支援を実施することができた。

5. 課題

- ・職員不足への対応および安定した人員体制の確保
- ・チーム支援および情報共有体制のさらなる強化

6. 収支状況および予算執行の評価

- ・生活介護事業では、契約利用者数の増加および利用率向上により、当初見込みを上回る収入となった。一方、ヘルパー事業では10月以降の事業計画変更や職員の体調不良等の影響を受け、収支計画の見直しを行なった。